

第3期

朝日町子ども・子育て支援事業計画(案)のパブリックコメント実施について

朝日町では、子ども・子育て支援法に基づき、幼児期の教育や保育、家庭における養育支援及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、「朝日町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援施策の推進に取り組んでいます。第2期計画の計画期

間が、令和6年度末で終期を迎えることから、令和7年度を始期とする第3期計画を策定します。

つきましては、この計画に皆様の声を反映させるため、ご意見をいただきたいと考え、パブリックコメントを実施いたします。

【募集期間：2月1日～2月28日】

詳細についてはこちらからご確認ください。

問い合わせ先
子育て健康課 TEL 377-5652



ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの定期予防接種について

キャッチアップ接種の期間が延長されます！

【厚生労働省での最新の検討状況】

(2025年1月8日更新)

今夏以降の大幅な需要増により、HPVワクチンの接種を希望しても受けられなかった方がいらっしゃる状況等を踏まえ、2025年3月末までに接種を開始した方が、全3回の接種を公費で完了できるようにする方針について、国の審議会です承されました。

問い合わせ先 子育て健康課 TEL 377-5652

対象者	・キャッチアップ接種対象者*のうち、2022年4月1日～2025年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方 ・2008(平成20)年度生まれの女子で、2022年4月1日～2025年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方
期間	キャッチアップ接種期間(2025年3月31日まで)終了後、1年間

*キャッチアップ接種対象者→過去の積極的な勧奨の差控えにより、接種機会を逃した方(平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性)

厚生労働省での検討状況及び正式決定の内容等については、厚生労働省ホームページをご確認ください。まずは、1回目接種の検討をお早めをお願いします。



知ってほしい お薬の話

町では皆様に安心してお薬を使用してもらうために、令和4年度から四日市薬剤師会と協力しながらお薬に関する様々な情報をお伝えしています。

今回は目薬についてお伝えします。

正しい目薬の使い方

花粉が飛び始める時期となり、目薬を使用する方も多くなるのではないのでしょうか。普段から目薬を使用されている方も正しい目薬の使い方をご存知ですか？

意外と知られていない正しい目薬の使い方や保管方法についてお伝えしたいと思います。

基本の使い方

まず手を洗う



下まぶたを軽く下に引いた所に点眼する



目を軽く押さえて薬液が鼻や口へ流れるのを防ぐ



四日市薬剤師会
橋本世李

正しい保管方法

ほとんどの目薬は室温での保管で問題ありませんが、直射日光が当たらない場所で保管しましょう。目薬の容器に書かれている使用期限は未開封の状態での期限です。開封済みの目薬は、開封から1か月経過したら廃棄しましょう。開封して空気に触れてから1か月以上経過したものは雑菌が繁殖しやすくなっているためです。

間違った使い方

・容器の先が眼に触れている

点眼薬の中にばい菌が混入する恐れがあります。

・一度に何滴も点眼している

目からあふれるだけで、何滴さしても効果は変わりません。

・点眼後に目をパチパチする

まばたきをするとお薬が目から流れ出てしまいます。

・目の周りに落ちた点眼薬を目に流し込んでいる

目の周りの汚れなども目の中に入ってしまう。

・複数の目薬を点眼する時時間を空けず立て続けに点眼している

複数の目薬を立て続けにさすと先にさした目薬が流れてしまいます。目薬の間隔は5分程空けましょう。